



横芝の 敬愛高木投手

ドラフト一位で入団

プロ野球ドラフトの話題——横芝敬愛高校の高木晃次（旭市）投手が、阪急ブレーブスからドラフト一位の指名を受け、入団しました。高木投手は、速球とカーブを武器の左の本格派で、その快腕に早くも期待がかかります。

カンパレー、新人王に向けて！



サケのラッシュにわく栗山川

一挙に1500尾達するか

春を呼ぶ栗山川のサケ回帰

栗山川は、時ならぬサケのラッシュにわいています。昨年10月18日から多い日で53尾もの回帰を続け、12月3日には念願の1000尾、23日には1427尾に達しました。この勢いで里帰りすると、お正月には1500尾の大台も夢ではなさそうです。

県警音楽隊が老人ホームを慰問



ダイナミックな演奏を披露する県警音楽隊

12月5日、千葉県警察音楽隊が坂田の養護老人ホームを慰問し、童謡・民謡・歌謡曲を1時間わたって演奏しました。お年寄りの皆さんは、ナツメロが流れると、「この歌は流行したね」と、口ずさんでいました。中には、30人編成の金管演奏をバックにお得意のノドを披露する人も表われ、音楽を通じたふれあいのひとときを楽しく過ごされました。

私のひとこと



私が農業に従事してはや、20数年が過ぎようとしています。最近の農業情勢は、過去にない深刻な問題に不安を抱かずにはいられない今日

このごろです。農業も年々国際化の波を受けて、あらゆる農産物が海外から日本へ大量に入りこむようになりました。私達の食卓の大半が原料は外国から入り、近い将来、米まで輸入されそうな様相がしています。

私はこのような農業情勢の中で、私の農業経営はどうあつたら良いのか、常々模索し、今日に至っております。

経営の一端をご紹介しますと、温室・ハウスが現在三千坪で、従業員は20名です。カーネーション・カスミ草、その他切花の苗作りを主として栽培し、

私の夢と経営

林 雅彦 (立会)

その生産された苗は千葉県房州切花農家はもとより、北海道から九州・沖縄まで切花産地の農家へ販売しております。カーネーションについては、今後、現在の生産量の10倍位を目標に掲げて計画を進めております。その計画は私1人の力では限界がありますので、生産協力を仲間にお願ひしています。以前、花の国オランダを訪れた際、花は生活の一部として取り扱われておりました。「花ありて人生樂し」と言っていた人の言葉がびつたりの感でした。5年後には大阪で「花の万国博覧会」が予定されていることでもありますし、今後日本国内でも色々な花について関心が高まろうかと思えます。私も微力ながら、それに向けて進歩発展を目指したいと思っております。そして、やがて私共が現役から引退するころには、日本の国全体がオランダに似た花の国「日本」になってくれたらいいなあ、という願ひつつ頑張ります。

たいと思っております。そして、やがて私共が現役から引退するころには、日本の国全体がオランダに似た花の国「日本」になってくれたらいいなあ、という願ひつつ頑張ります。